

## 「ヘルプマーク」知って 高岡のNPO法人えがお 普及へカード作成

2021.08.28 00:22



線維筋痛症や慢性疲労症候群の患者を支援するNPO法人えがお（高岡市北島、鳥井謙祐理事長）は、外見では分かりにくい内部障害や難病への配慮を求める「ヘルプマーク」の認知度向上を図ろうと、マークが描かれた「ヘルプカード」を作成し、今月上旬から市役所などで配布している。

ヘルプマークは赤地に白い十字とハートが浮かぶ図柄。県内ではまだ浸透しておらず、市民らの目に触れる機会を増やそうと、高岡まこと銀行の助成を活用してカードを作った。市役所や各支所、市民病院の計6カ所で配っている。

カードには、氏名と連絡先のほか、かかりつけの病院や服用している薬などの情報が記入できるようになっている。名刺サイズに折りたたんで持ち運び、緊急時に役立つ。

鳥井理事長は「多くの人に知ってもらい、支援の輪が広がれば」と期待した。

マークとカードの活用を学ぶオンラインセミナーも企画している。来年2月までの全4回で、料金は500円。初回は今月28日に開く。QRコードからアクセスして申し込む。

